

青峰探究「成果発表会」評価基準表

項目	評価基準		
	十分満足できる（Ａ）	おおむね満足できる（Ｂ）	努力を要する（Ｃ）
① 話し方の工夫 （声の大きさ・抑揚など） 【思・判・表】	聞き手に十分聞こえる声の大きさと、聞き取りやすいように強弱をつけて話すことができる。また、話すスピードも適切である。	声は聞こえるが、話し方が一辺倒なところがある。話すスピードに、まだ工夫の余地がある。	声が小さく、聞き手に届いていない。
② 発表への熱意 （表情・ジェスチャーなど） 【主】	ポスターの該当箇所を指し示したり、身振り手振りをういたりしながら、聞き手にわかりやすいように工夫することができている。	ジェスチャーなど、おおむね聞き取りやすいが、まだ工夫の余地がある。	ジェスチャーなどに対する工夫が見られない。
③ 聴衆への気配り （視線の配り方など） 【知・技】	基本的に原稿を見ずに、聞き手全体を見渡しながら話すことができる。	ところどころ原稿やポスターを見ながら、聞き手の方を向いて話すことができる。	原稿やポスターの方ばかりを見て、聞き手の方を向いていない。
④ 時間配分 【知・技】	設定された時間の中で、強調するべきところに時間をかけ、発表を行っている。	設定された時間を守って発表を行っている。	設定された時間から大幅に異なる時間で発表を行っている。

【知】… 知識・技能 ／ 【思・判・表】… 思考・判断・表現 ／ 【主】… 主体的に学習に取り組む態度